



1年間の集大成 おいしくいただきました！～3日(火)5年生餅つき体験～



5年生が、総合的な学習の時間に、昨年の4月に種から育てたもち米を使って、餅つきをしました。米作りの工程の中で、種まき、田植え、稲刈り、脱穀、粋すりなど、子どもたちも一連の作業を体験してきました。今日は、自分たちで体験を通して学んできたことを振り返りながら、出来上がったお餅をおいしくいただきました。「おいしい！」「こんなにもたくさんできました」「きなこ味で食べよう」と子どもたちも、自然の恵みと除草や肥料まきなど、ご協力いただいた地域学習ボランティアの方の丁寧なお世話への感謝もしっかりと伝えました。

毎年恒例、3年生にもお裾分け。「ありがとうございました。」とお礼を言うと、「いただきます」の挨拶とともにおいしくいただきました。5年生のみなさん、ありがとうございます。



パラスポーツを体験しました～3日(火)4年生 SS ピンポン体験～



4年生が福祉についての学習の一環として、水沢地区社会協議会を通じて、SS ピンポンの選手の黒田智子さんを講師にお迎えし、お話をきいたり体験をしたりする活動を行いました。お話の中では、実際に東京オリンピックで聖火ランナーをした時のトーチの実物も見せていただきながら、「全盲の選手でも五輪のマークが正面になるのがわかるように、突起がついているんだよ」など工夫されていることを教えていただきました。「どんな風に見えているんですか」といった質問もあり、「目を閉じてみよう。それが見えている景色です。でも、実際に見えて

いた時に覚えている色や形が想像できるものもあるんだよ。」と子どもたちがイメージしやすいようにお話ををしていただきました。

SS ピンポンの体験では、初めに黒田さんと介助の方で見本をみせてもらったのですが、子どもたちからは「すごい！」「こんなに激しいんだ」と驚きの声が上がってきました。「点が入って喜ぶのはいいけど、騒ぐのはダメです。」「ジャンケンは、必ずグー、チョキ、パーのどれを出したか、口に出す。」と体験の前には約束の確認をすると、子どもから「ピンポンの音が聞こえなくなるからダメなんだ」「声に出して相手に伝えないとわからないよね」と、その理由も考えながら体験しました。試合が始まると、一生懸命、どの子も楽しみながら体験しました。今日の体験と黒田さんとの出会いを通して、全ての人が安心して楽しく過ごせる社会の実現に向け、子どもたちの学びも深まりました。



防災について学ぶ～3日(火)6年生図上訓練(HUG)を体験～



6年生が5、6限めに、防災について学習をしました。三重県教育委員会から担当の方と学校防災アドバイザーの方を講師に迎え、災害時の避難所の様子についてスライドを基に説明いただいたあと、図上訓練(HUG)を行いました。HUGは、学校が避難所になった際の状況を仮想的に体験する訓練です。校舎配置図や避難所となる体育館の図面の上に、危険箇所の確認や災害対策本部をどこにするのか、避難してきた方の年齢などに合わせてどこを避難場所とするかなど、カードに書かれていることについて、グループで話し合いながら安心して過ごせる避難所を作っていました。

実際に災害が起こると、少しでも逃れようと冷静な判断ができないこともあります。平時だからこそ、冷静に判断し、しっかりとシミュレーションができることがメリットと担当の方からは教えていただきました。6年生の子どもたちの学びは、これから地域の一員としての力になっていくことを期待しています。

発見！水沢っ子の素敵な姿!!

2年生は、進級するとトイレの掃除を任されます。少しずつ新しい学年で取り組むことを先取りして学ぶ取り組みをしています。教ってくれる先生はもうすぐ卒業する6年生。掃除の仕方だけでなく、トイレットペーパーの補充の仕方も教えてくれました。上級生から下級生へ、学校をよくするために丁寧に教え伝える姿にとても感動しました。創立150周年の歴史は、このようにして受け継がれてきているのだと実感しました。

(文責 岡本浩樹)